

令和5年度 第3回 九州地方整備局 事業評価監視委員会

国道497号 (西九州自動車道) まつうら さざ 松浦佐々道路



- ① 事業採択後3年経過して未着工の事業
- ② 事業採択後5年経過して継続中の事業
- ③ 着工準備費又は実施計画調査費の予算化後3年経過した事業
- ④ 再評価実施後5年経過した事業
- ⑤ 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

1. 目的・事業概要・これまでの経緯(2/2)

○平成26年度に事業化。平成27年度から用地買収着手、平成28年度から工事着手。

事業区間の状況



▲ 松浦IC付近(写真①)



▲ 江迎5号橋(仮称)(写真②)



年度	松浦IC～平戸IC (延長7.5km)	平戸IC～江迎鹿町IC (延長4.3km)	江迎鹿町IC～佐々IC (延長7.3km)
H26	事業化 (2車線)		
H27	地質・水文等調査 用地買収着手	地質・水文等調査	地質・水文等調査
H28	工事着手		
H29			
H30		用地買収着手	
R1			
R2		工事着手	用地買収着手
R3			
R4			
R5			

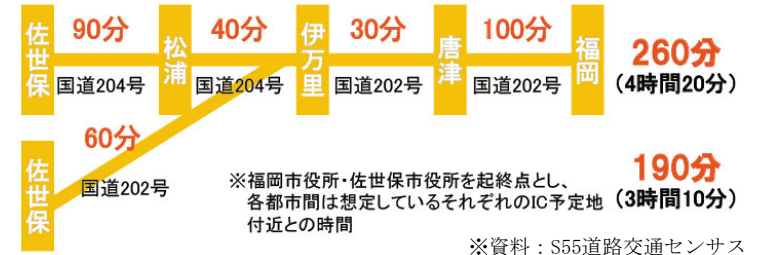
前回評価
(R1)

2. 事業の効果・必要性(広域交通ネットワークの形成)

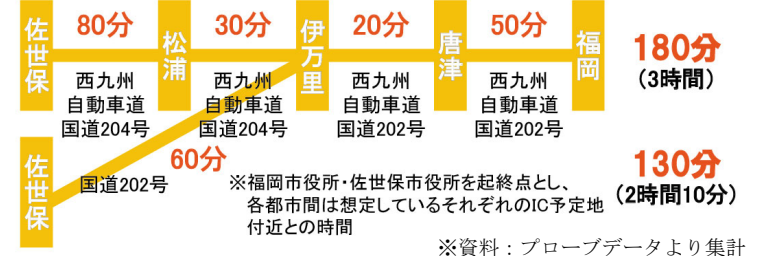
- 西九州自動車道の開通により、福岡市から佐世保市に至る広域交通ネットワークが形成。
- 沿線の所要時間短縮や定時性確保が図られ、九州北西部の地域経済活性化への貢献が期待。
- 沿線には玄海原子力発電所があり、西九州自動車道は緊急時の避難路として設定。
- 九州横断自動車道とダブルネットワークを形成することにより、災害時の貢献が期待。



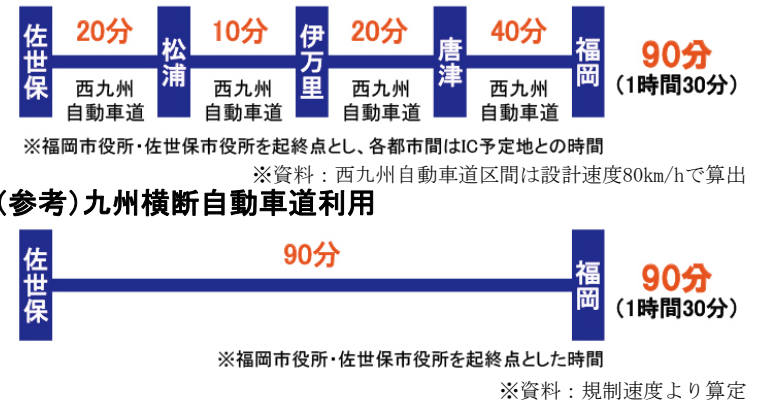
①開通前:すべて現道利用



②現況:西九州自動車道一部開通済



③将来:西九州自動車道全開通



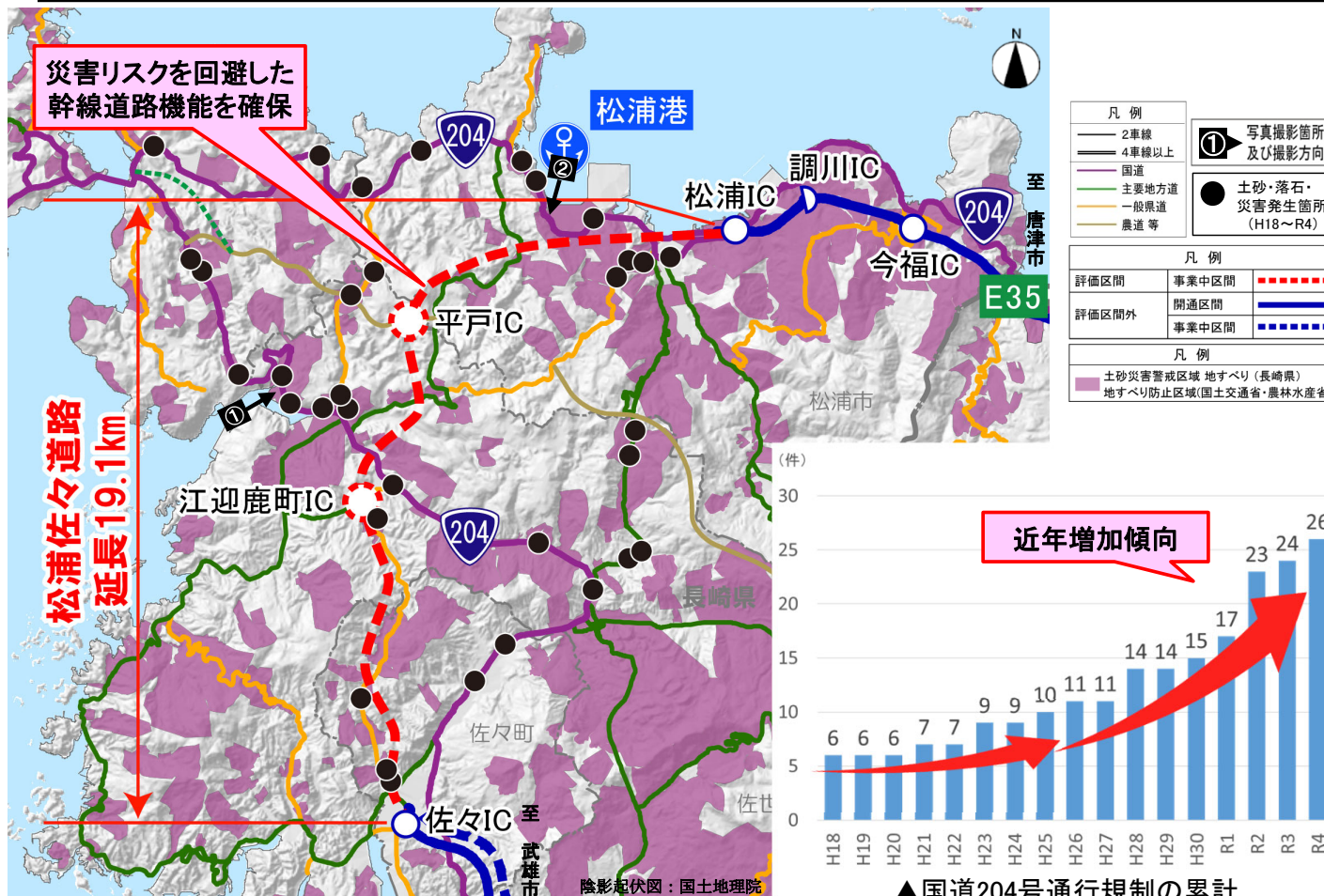
<ダブルネットワークの構築>

凡 例		
評価区間	事業中区間	(2車線)
評価区間外	開通区間	(4車線)
		(2車線)
	事業中区間	(2車線)



2. 事業の効果・必要性(防災機能の強化)

- 長崎県北部の松浦佐々道路沿線地域は、土砂災害警戒区域及び地すべり防止区域が広範囲に点在しており災害のリスクが高い。
- 国道204号の災害による通行規制回数も近年増加している。
- 災害リスクを回避する確実な幹線道路としての役割を発揮し、日常生活の安全・安心や災害時の避難や支援といった防災機能の強化が期待。



写真① 冠水した国道204号を走行する車両
(国道204号、佐世保市江迎町、R5.9.15)



写真② 法面崩落の状況
(松浦市御厨町、R5.9.15)

※資料 災害発生箇所：長崎県資料 (対象期間：平成18年度～令和4年度)
国土数値情報 土砂災害警戒区域データ (地すべり) (令和4年度)
国土数値情報 地すべり防止区域データ (令和3年度)

※資料：長崎県資料 (対象期間：平成18年度～令和4年度)

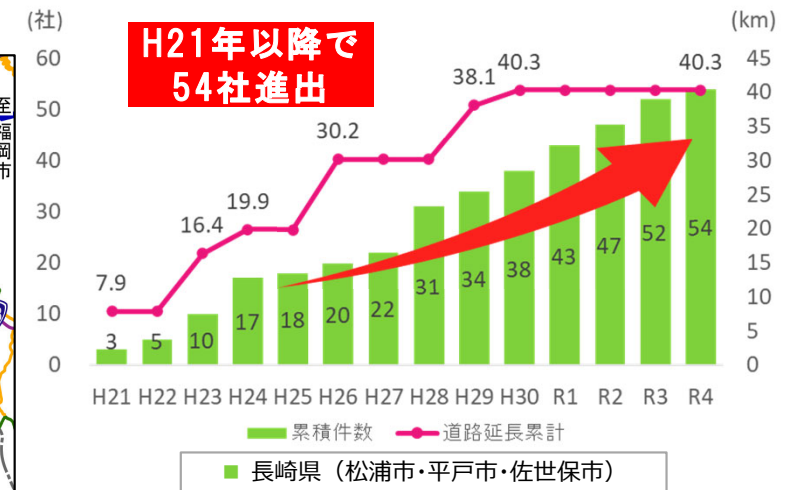
2. 事業の効果・必要性(地域産業の支援)

- 松浦佐々道路を含む西九州自動車道沿線では、道路整備が企業立地や工場拡大等を後押し。
- 新たに造成された平戸市工業団地は分譲開始2年で完売。
- 周辺市町へのアクセス向上で新たな企業立地や雇用創出など、地域産業活性化が期待。



▲ 周辺概況図

※写真出典：長崎県企業誘致ガイドHP



▲沿線自治体の進出企業数推移(累積)

※資料：各市町村提供資料及び各市町村ホームページ

西九州道の整備によって物流や流通の面では多大な効果があると思っており、近隣に高速道路ができる事への期待感大きい。
(R4 平戸市内進出企業ヒアリング)

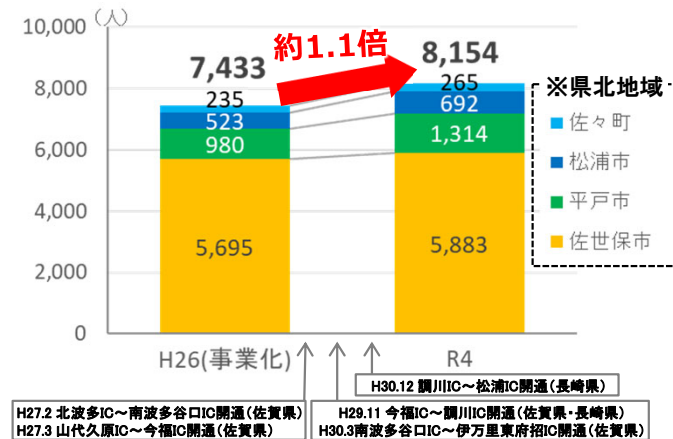
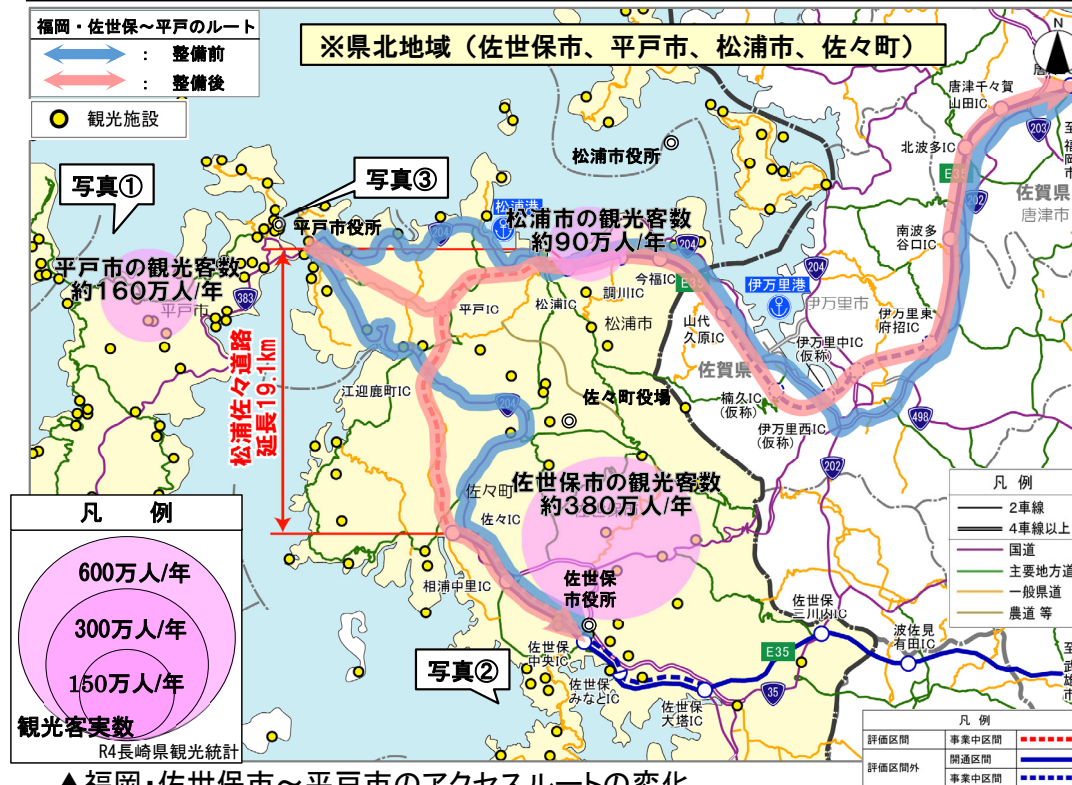
平戸市内の工業団地は既に完売したため、新たな工業団地を調査している。西九州道の整備に合わせて製造業を中心にセールスを進めており、平戸ICまで開通すれば企業誘致の後押しになる。
(R4 平戸市商工産課ヒアリング)

▲ 周辺企業、自治体の実感・期待感

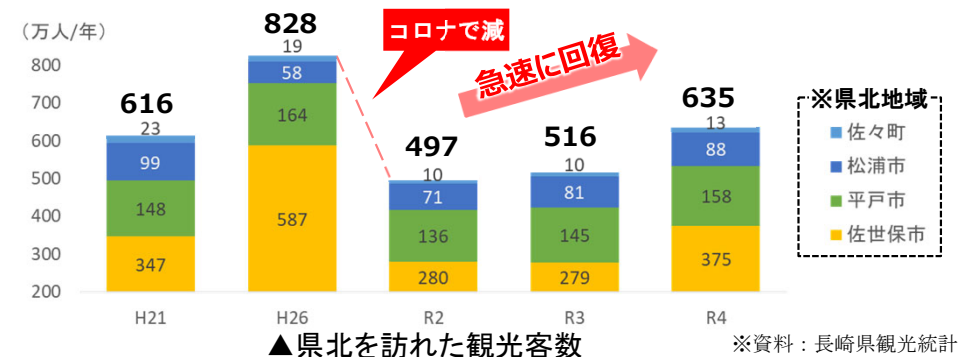
※資料：長崎河川国道事務所調査 (R4)
調査方法：道路整備による企業立地への対応についてヒアリング
調査対象：西九州道沿線の自治体

2. 事業の効果・必要性(観光振興の支援)

- 県北地域は、世界遺産や九十九島などの観光資源を多数有しており、西九州自動車道の整備に伴い福岡県からの来訪者は増加傾向。
- コロナ禍で一時低迷した観光客数は、急速な回復傾向にある。
- 松浦佐々道路の整備により県北地域の周遊性が向上し、更なる観光振興の促進が期待。



▲8月休日の福岡県からの来訪者推移(佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町)



・西九州自動車道の整備が進む前は、宿泊客が減少しマーケット縮小のイメージを持っていましたが、実際はより遠くの方が来て下さる様になって来た。また、コロナ禍であっても福岡や北九州からの観光客は確実に戻ってきている感があり西九州道の整備には期待しかない。コロナ禍後の西九州道整備促進は、地域にとって最後の生き残りのチャンスと考え佐世保市などと連携しての取り組みを考えています。

(一社)平戸観光協会ヒアリング(R4)



3. 事業の進捗状況(※前回以降の状況)

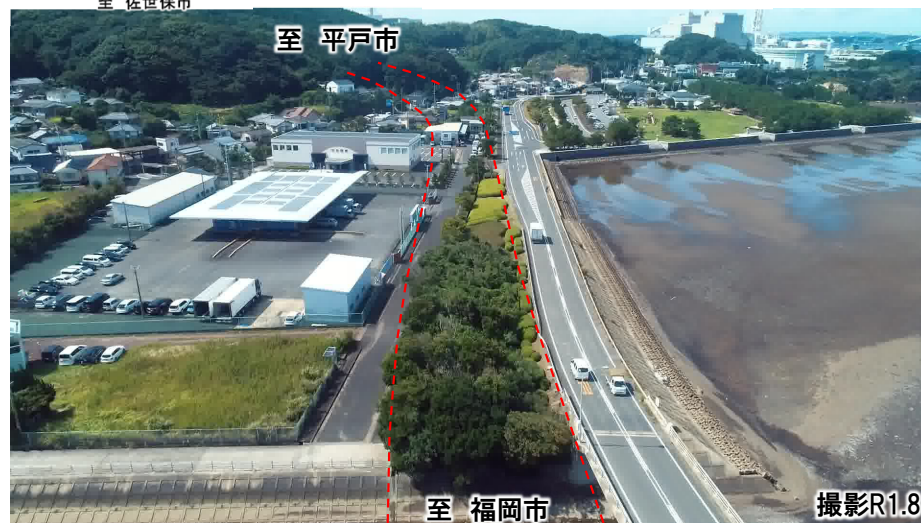
◆令和元年度以降の事業進捗状況

○令和元年度以降、松浦IC～平戸IC間（延長7.5km）及び平戸IC～江迎鹿町IC間（延長4.3km）の工事を推進。

○今年度は、用地買収及び改良工、トンネル工、橋梁（上部工・下部工）工事を推進中。



▲松浦2号トンネル（写真①）



▲松浦4号橋（仮称）施工前（写真②）



▲松浦4号橋（仮称）施工中（写真③）

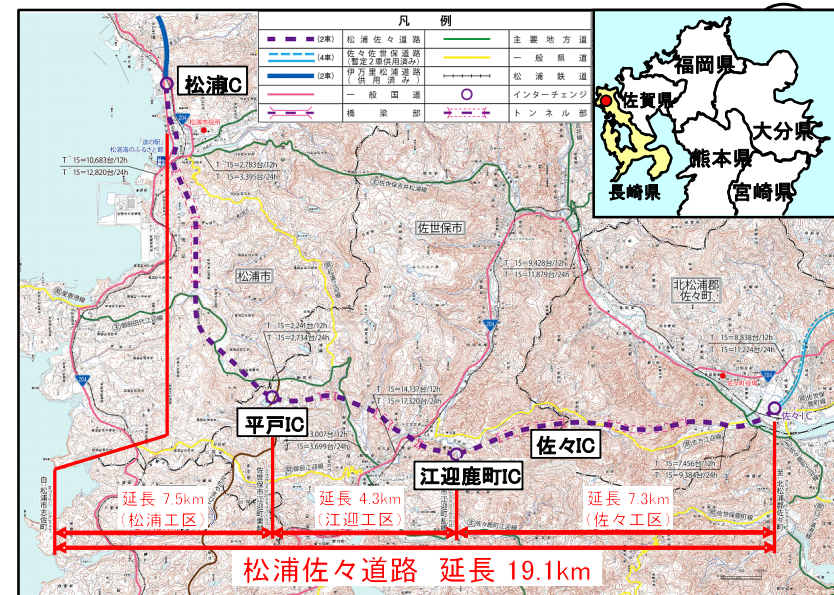
4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 1/7

■事業箇所の概要

起終点 ながさき まつうら しさ
長崎県松浦市志佐町浦免
きたまつうら さざ おきためん
～同県北松浦郡佐々町沖田免

延長 19.1km
 (西九州自動車道 松浦佐々道路)

全体事業費 907億円
 ⇒1,130億円に変更(+223億円)



■全体事業費の増額の内訳

- | | |
|------------------------------|---------|
| ①トンネル工事における支保構造の変更及び補助工法の追加 | 約 +40億円 |
| ②トンネル工事における基準・ガイドラインの改定による追加 | 約 +72億円 |
| ③物価上昇による資機材及び労務費等の増 ※1 | 約+112億円 |
| ④跨道橋の集約に伴うコスト縮減 | 約 -1億円 |

合計 約+223億円

※1:平戸IC～江迎鹿町IC間、江迎鹿町IC～佐々IC間については、現在調査設計中である。
 今後、事業量が把握できた段階において、物価変動に伴う事業費の見直しを含む事業費の精査を行い、再評価に諮ることとする。

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 2/7

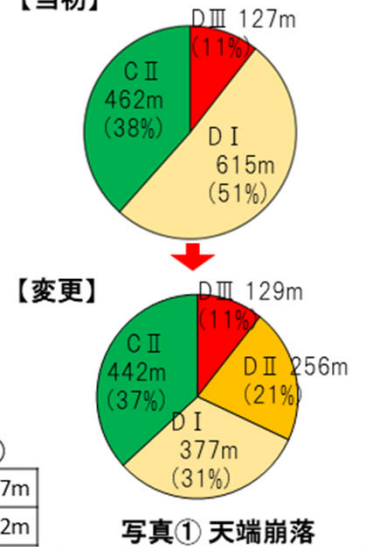
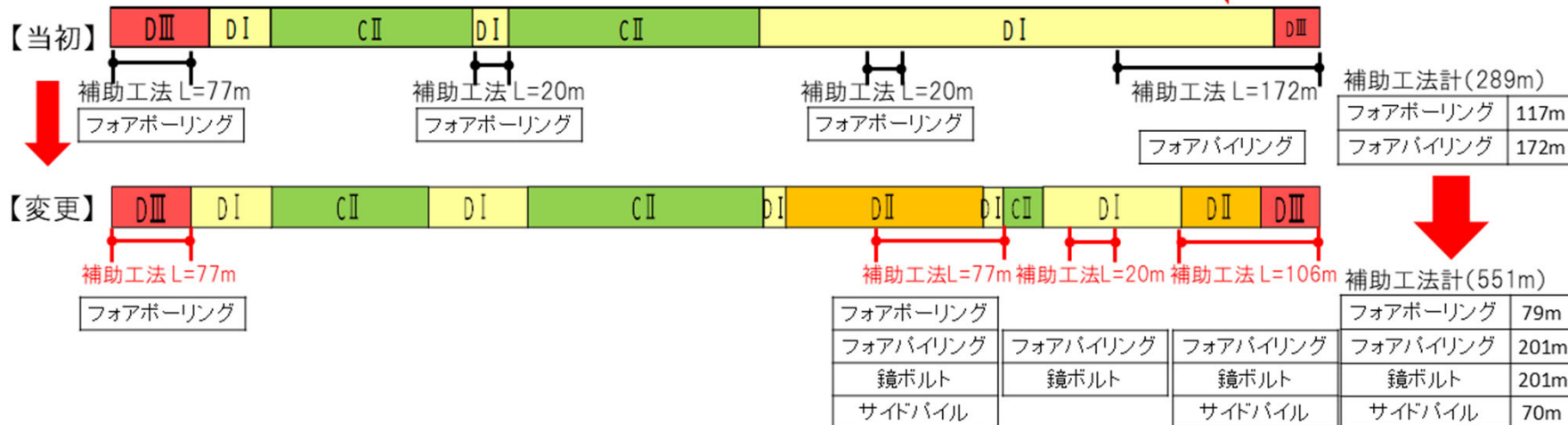
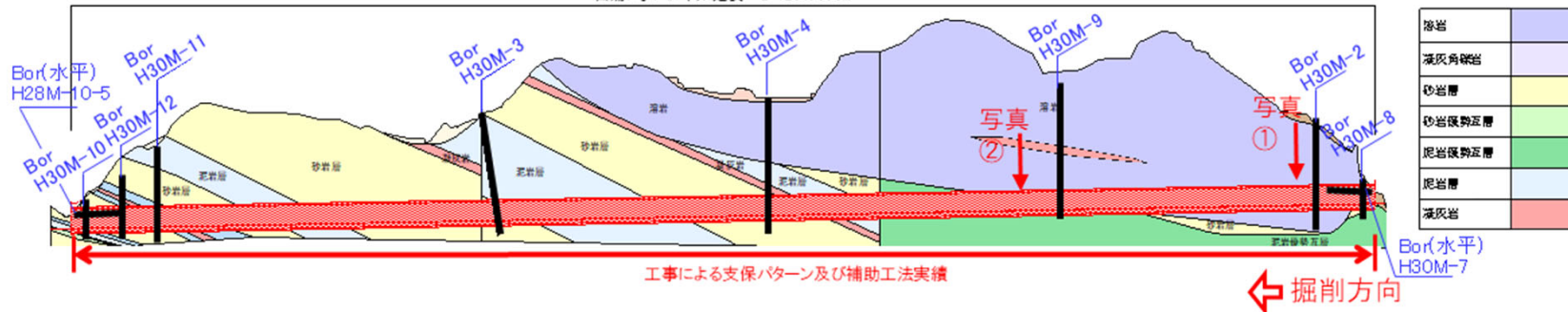
①トンネル工事における支保構造の変更及び補助工法の追加【約+40億円】

①-1 松浦1号トンネル +約12億円

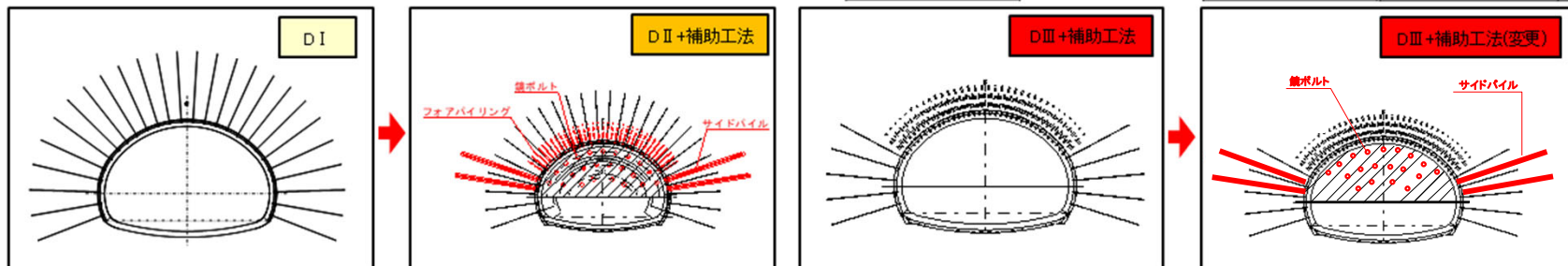
【当初】トンネル設計時に実施した地質調査をもとに支保構造及び補助工法の追加を決定していた。

【変更】令和2年度より掘削を開始したが、一部区間で天端の崩落や湧水の発生等があり、想定より地山が脆弱であったため、トンネル技術検討委員会で助言を頂きながら検討し、支保構造の変更及び補助工法の追加・変更が必要となった。【当初】

松浦1号トンネル延長 L=1204.000m



写真② 切羽面崩落



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 3/7

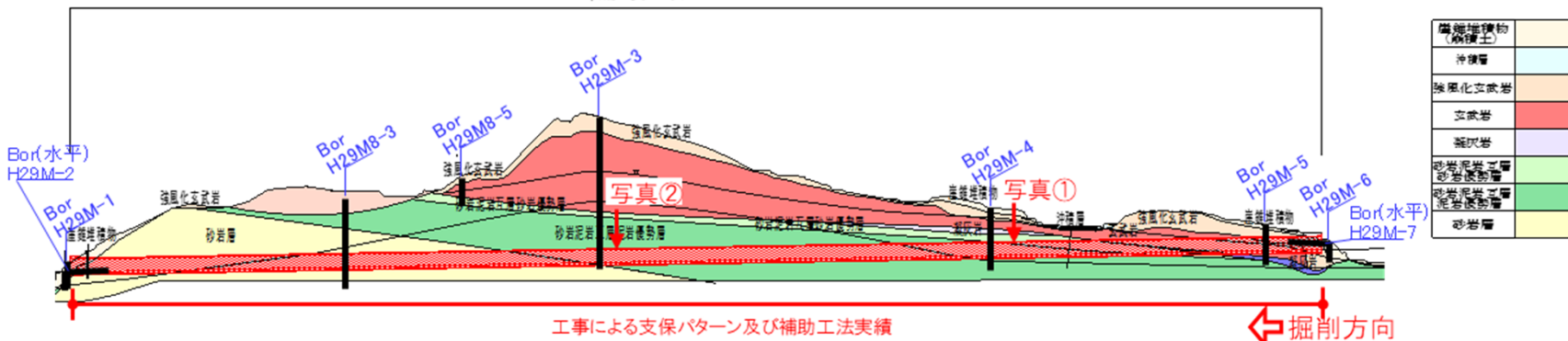
①トンネル工事における支保構造の変更及び補助工法の追加 【約+40億円】

①-2 松浦2号トンネル +約28億円

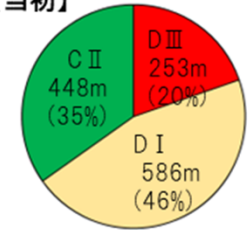
【当初】トンネル設計時に実施した地質調査を基に、支保構造及び補助工法の追加を決定していた。

【変更】令和元年度に工事着手したところ、一部区間で天端の崩落や湧水の発生等があり、想定より地山が脆弱であったため、トンネル技術検討委員会で助言を頂きながら検討し、補助工法の追加・変更が必要となった。

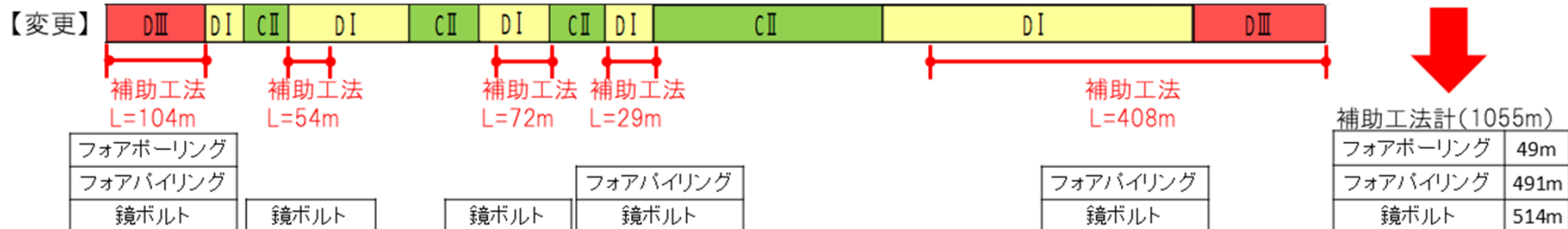
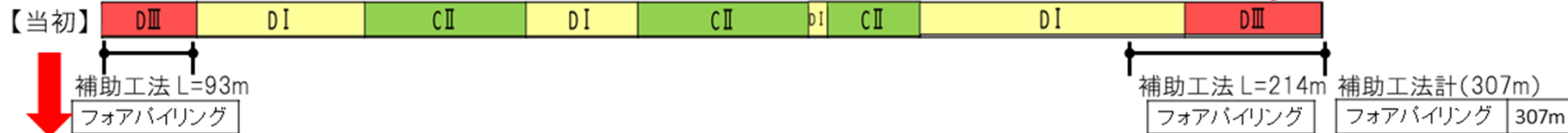
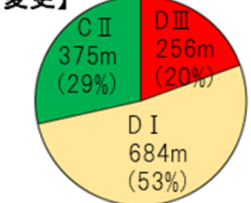
松浦2号トンネル L=1287.3m



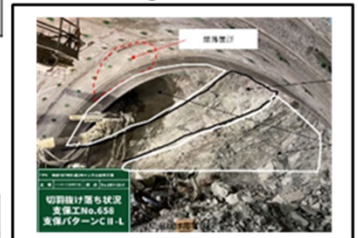
【当初】



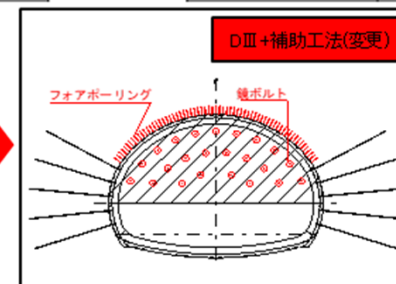
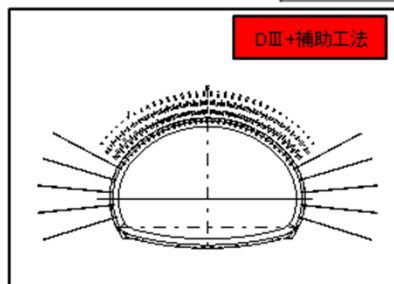
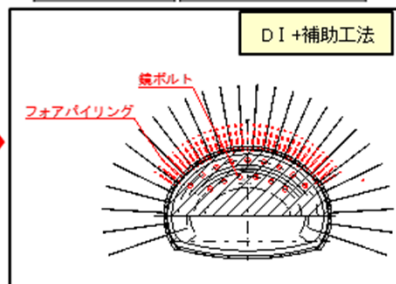
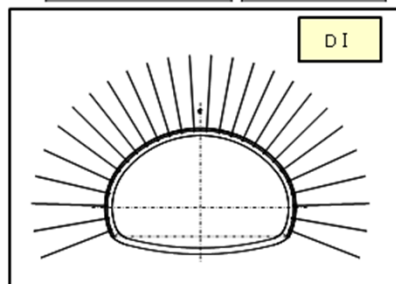
【変更】



写真① 天端崩落



写真② 天端崩落



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 4/7

②トンネル工事における基準・ガイドラインの改定による追加【約+72億円】

【当初】当初計画では、基準及びガイドライン策定前であったため、当時の基準で計画していた。

【変更】最新の基準及びガイドラインの改定による計画に変更したため、増額が必要となった。

②-1 トンネル工事における切羽監視責任者及び鏡吹付の追加(+25億円)

- ・トンネル掘削工事の最先端(切羽)では、岩石の落下等(肌落ち)による労働災害がたびたび発生し、発生した場合の重篤度が高い。
- ・令和元年度の国土交通省土木工事積算基準の改定に伴い、切羽の変状等を常時監視する切羽監視責任者の配置及び肌落ち防止対策として鏡吹付が標準化された。

②-2 トンネル工事における粉じん対策に伴う、吹付コンクリートの変更(+5億円)

- ・トンネル工事において坑内で発生する「粉じん」は肺機能の低下を招く「じん肺」の原因として、大変深刻な問題となっている。
- ・令和2年7月に「ずい道等工事における粉じん対策に関するガイドライン」が改正された。
- ・粉じん濃度目標レベルが $3\text{mg}/\text{m}^3$ から $2\text{mg}/\text{m}^3$ に引き下げられたことに伴い、吹付コンクリートの配合変更が必要となった。

施工状況



【鏡吹付施工状況】



【切羽監視責任者の配置状況】



4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 5/7

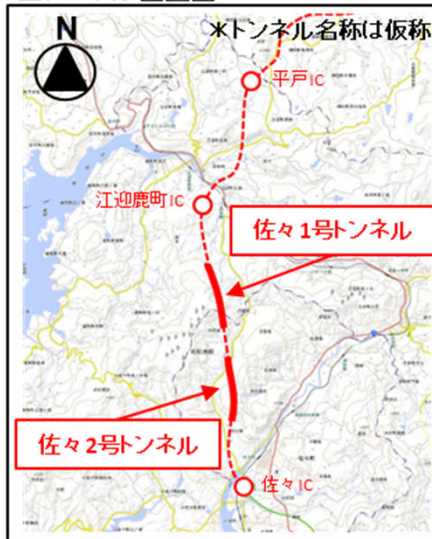
②トンネル工事における基準・ガイドラインの改定による追加【約+72億円】

②-3 トンネル非常用施設(避難通路)の追加(+42億円)

【当初】当初計画時では非常用施設設置基準(H13.10)の中で、避難通路の設置(延長3,000m以下)の必要性は無かった。

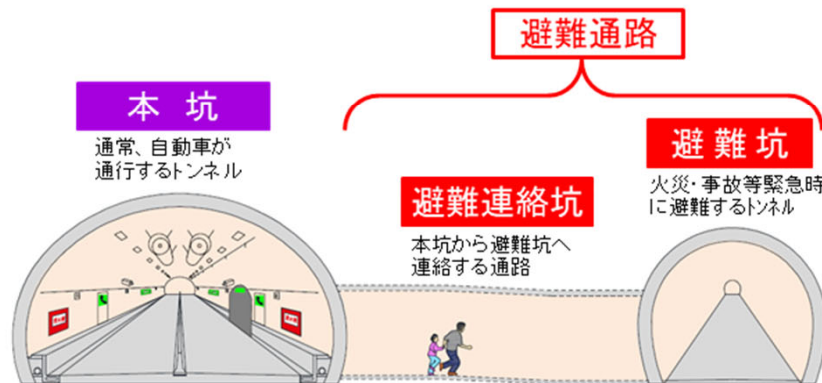
【変更】非常用施設設置基準の改定(R1.9)に伴い、佐々1号2号トンネルは避難通路が必要となり、避難通路設置による工事費の増加が生じた。

■トンネル位置図



■非常用施設設置基準改訂に伴う計画変更点

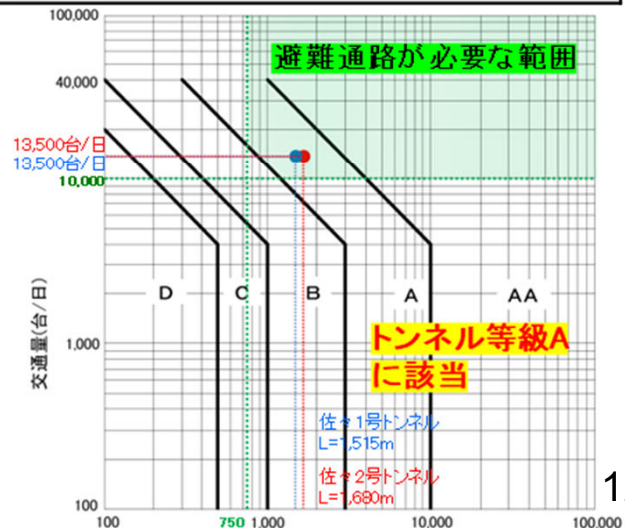
当初	変更
・避難通路が必要となるトンネル等級Aのトンネル【H13基準】 ： 延長3,000m以上 ⇒該当しない (防災等級A、交通量13,500台/日) 約1.5km 本坑 約1.7km 本坑 佐々1号トンネル 佐々2号トンネル ○本坑トンネル単独の構造	・避難通路が必要となるトンネル等級Aのトンネル【R1基準】 ： 延長750m以上・交通量10,000台/日以上 ⇒該当する 約1.5km 本坑 約1.7km 本坑 避難連絡坑 避難坑 約1.5km 避難坑 約1.7km ○R1非常用施設設置基準の改訂を踏まえ、避難通路設置



▲避難通路の概要※



▲避難連絡坑(写真)※



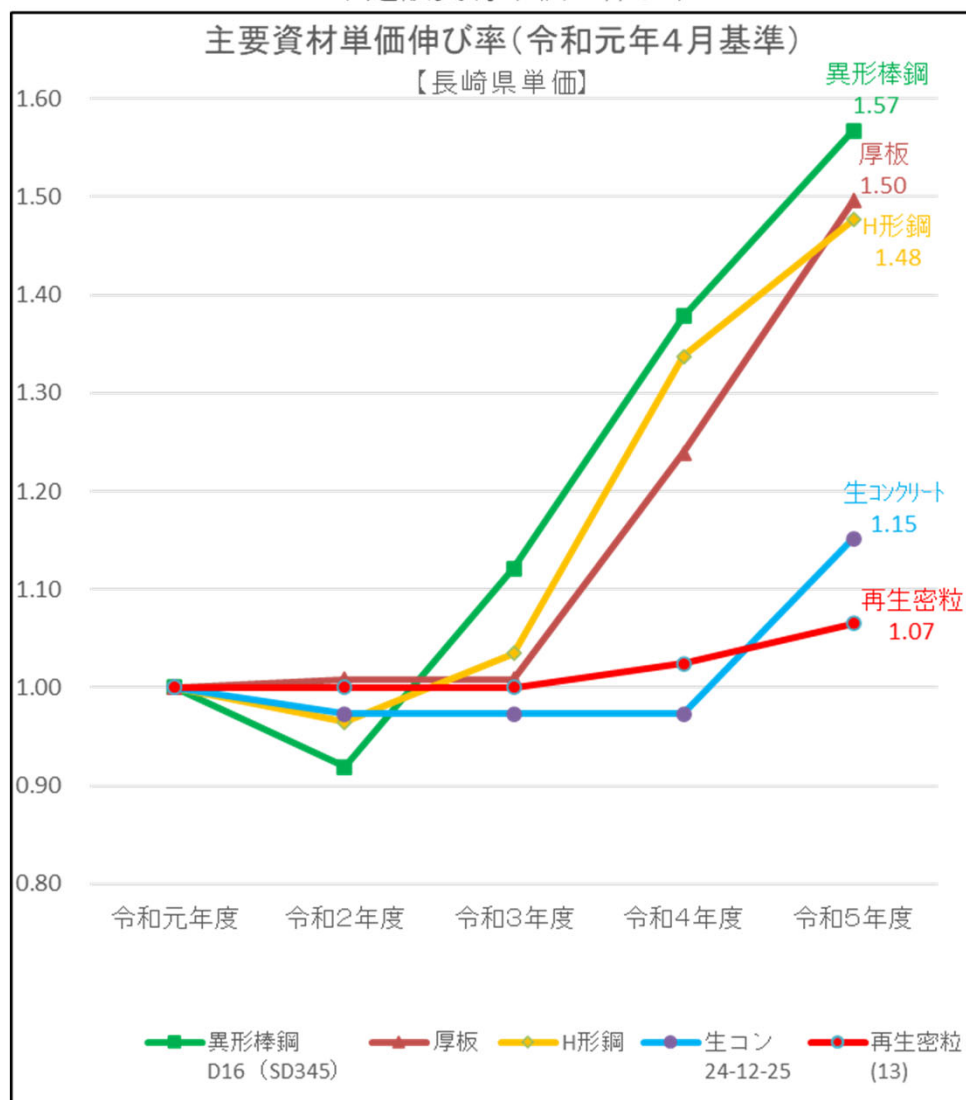
※出典：九州地方整備局ホームページ(二重峠トンネル)より一部加筆

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 6/7

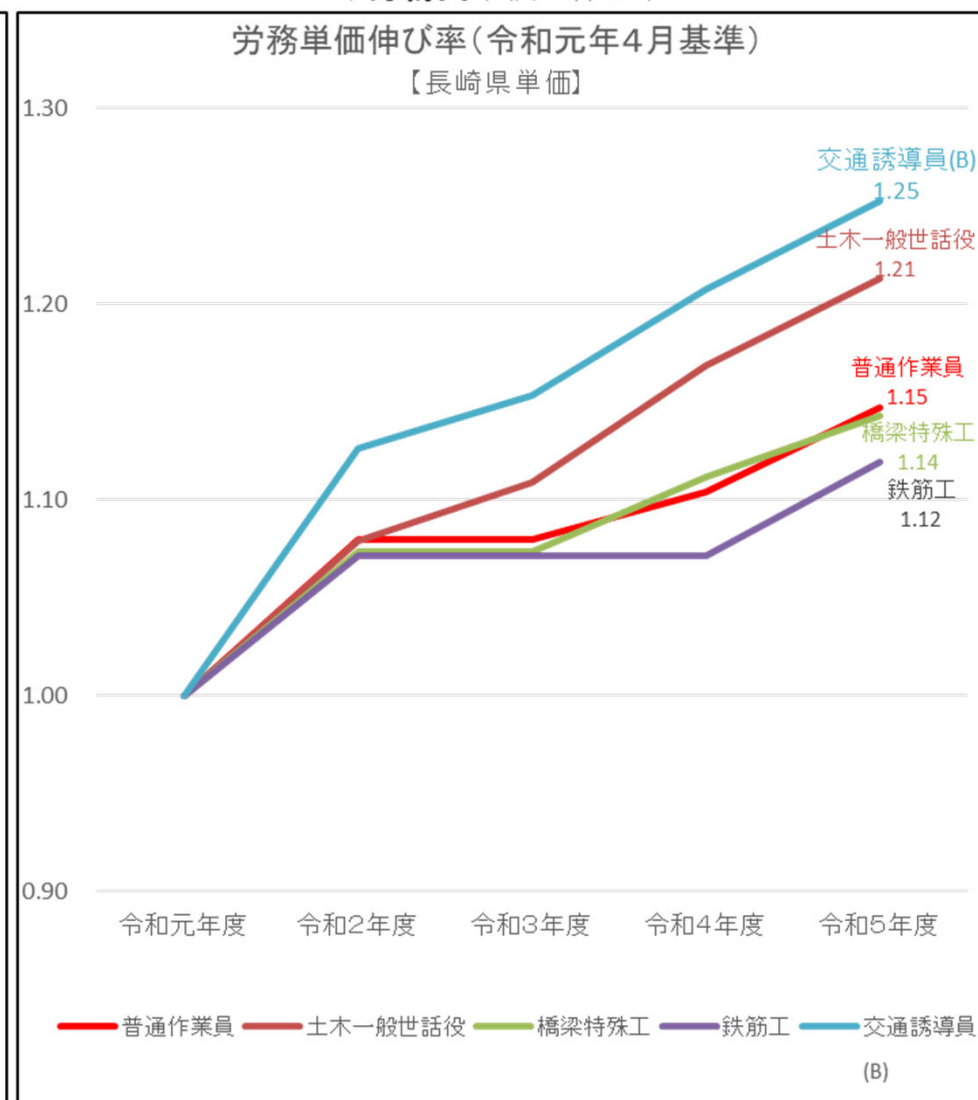
③物価上昇による資機材及び労務費等の増【約+112億円】

- ・前回評価(R1)後の資機材・労務費単価の上昇によって、増額の必要性が生じた。
- ・なお、今後も資機材単価や労務単価の上昇が継続する場合、更なる費用増加の可能性がある。

◆建設資材単価の伸び率



◆労務費単価の伸び率

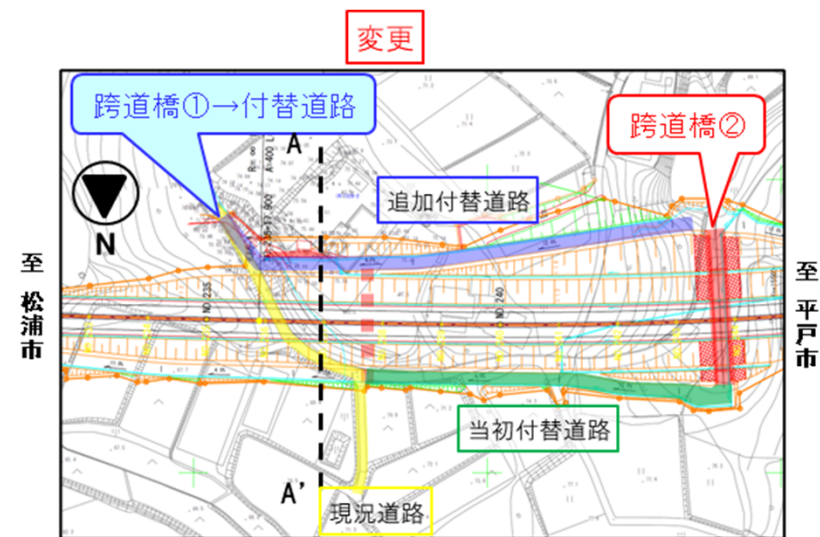
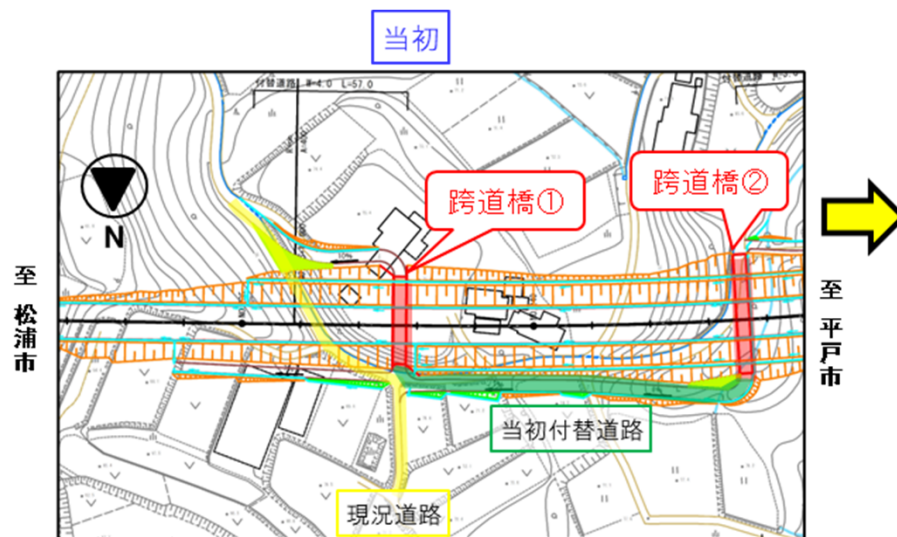


4. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 7/7

④跨道橋の集約に伴うコスト縮減【約-1億円】

【当初】当初計画では、既存道路位置での機能回復を行い、跨道橋を2橋計画していた。

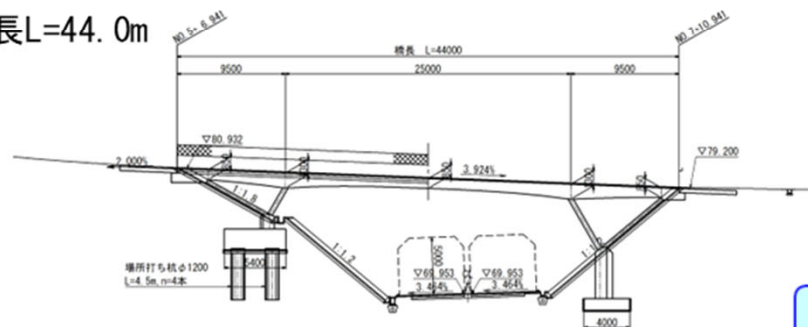
【変更】跨道橋を統合し新たに側道に設ける計画に変更し、コスト縮減を図った。



跨道橋①

幅員W=4.0m

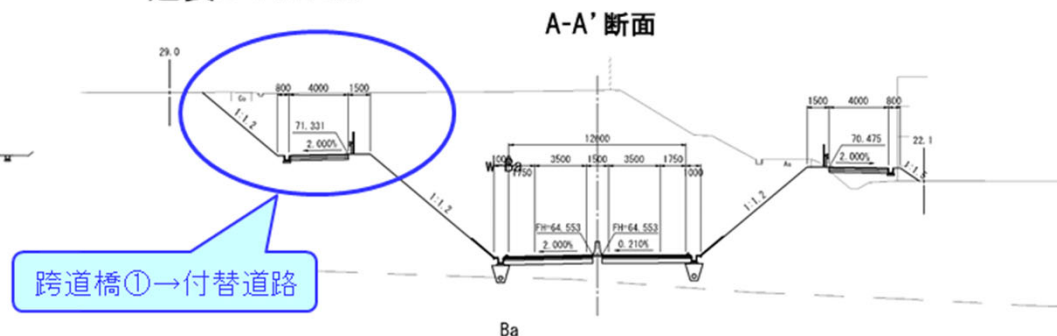
延長L=44.0m



付替道路(側道)

幅員W=4.0m

延長L=150.0m



5. 事業の効果・必要性(まとめ)

《効果名》

【効果の概要】

①走行時間短縮便益、走行費用減少便益、
交通事故減少便益

903億円

②広域交通ネットワークの形成

- ・西九州自動車道の開通により、福岡市から佐世保市に至る広域交通ネットワークが形成。
- ・沿線の所要時間短縮や定時性確保が図られ、九州北西部の地域経済活性化への貢献が期待。
- ・九州横断自動車道とダブルネットワークを形成することにより、災害時の貢献が期待。

③防災機能の強化

- ・国道204号の代替路として、災害リスクを回避する確実な幹線道路としての役割を発揮。
- ・日常生活の安全・安心や災害時の避難や支援といった防災機能の強化が期待。

④地域産業の支援

- ・周辺市町へのアクセス向上で新たな企業立地や雇用創出など、地域産業活性化が期待。

⑤観光振興の支援

- ・県北地域は、世界遺産や九十九島などの観光資源を多数有しており、西九州自動車道の整備に伴い福岡県からの来訪者は増加傾向。
- ・松浦佐々道路の整備により県北地域の周遊性が向上し、更なる観光振興の促進が期待。

⑥費用便益分析（算定に用いた効果①）

事業全体：0.8

残事業：2.0

6. 事業内容の見直し

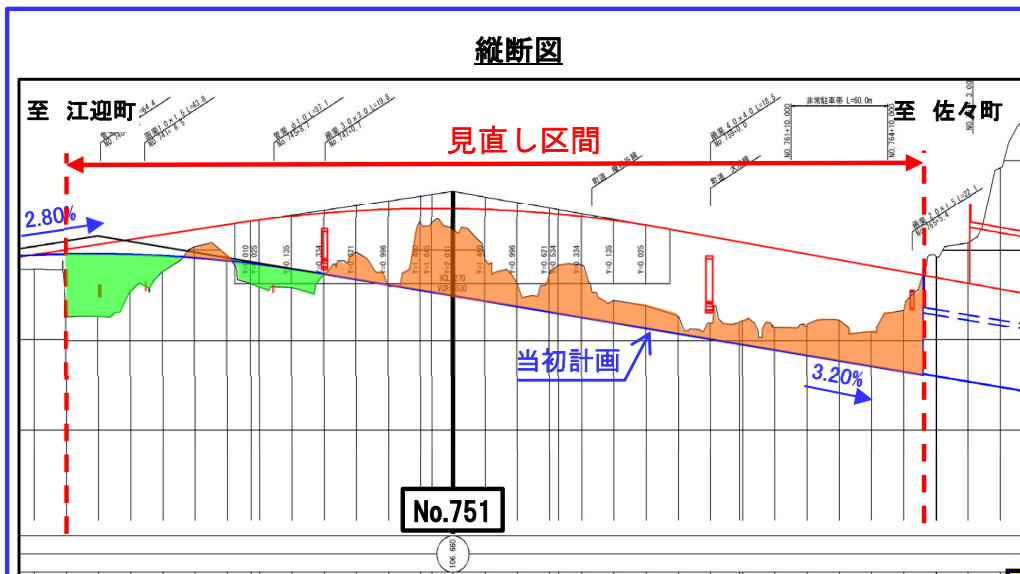
○事業内容の見直し(減額)【約-12億円】

・地すべり区間の縦断線形の見直しによる縮減 約-12億円

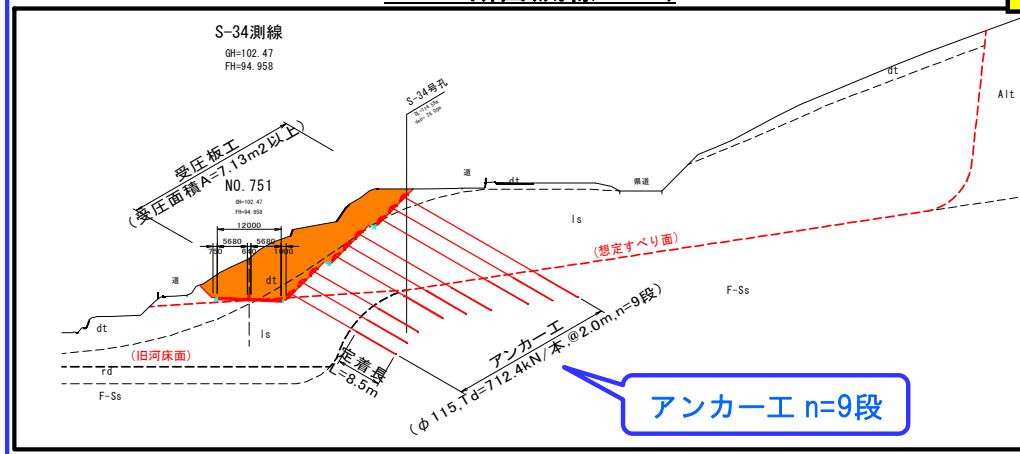
【当初】地質調査の結果、地すべり区間に対して大規模な地すべり対策工（アンカー工）が必要であることが判明した。

【変更】地すべり区間の縦断計画見直しによって、地すべり対策工の規模が縮小され、事業内容の見直しが図れた。

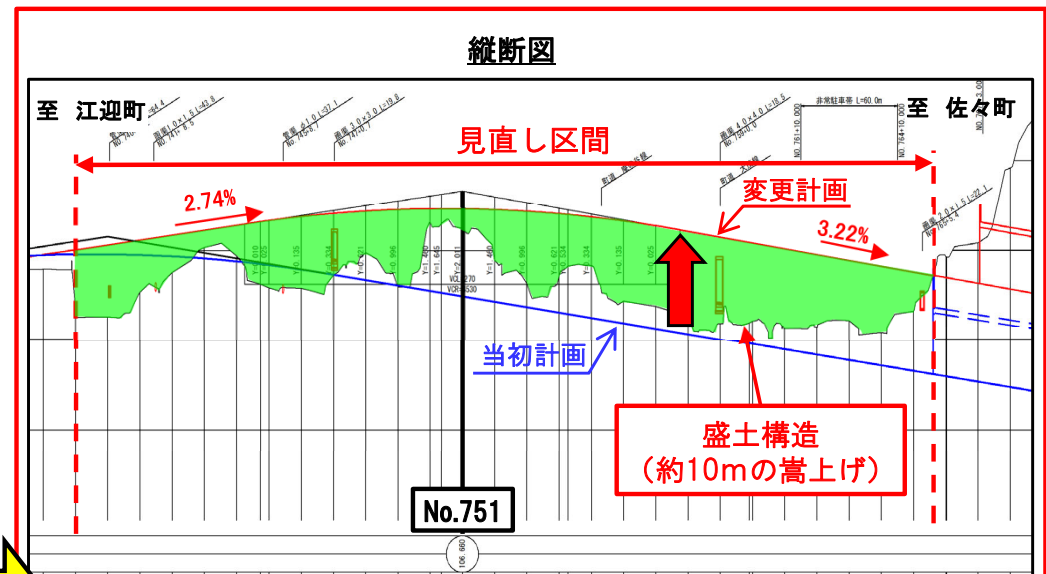
【当初】



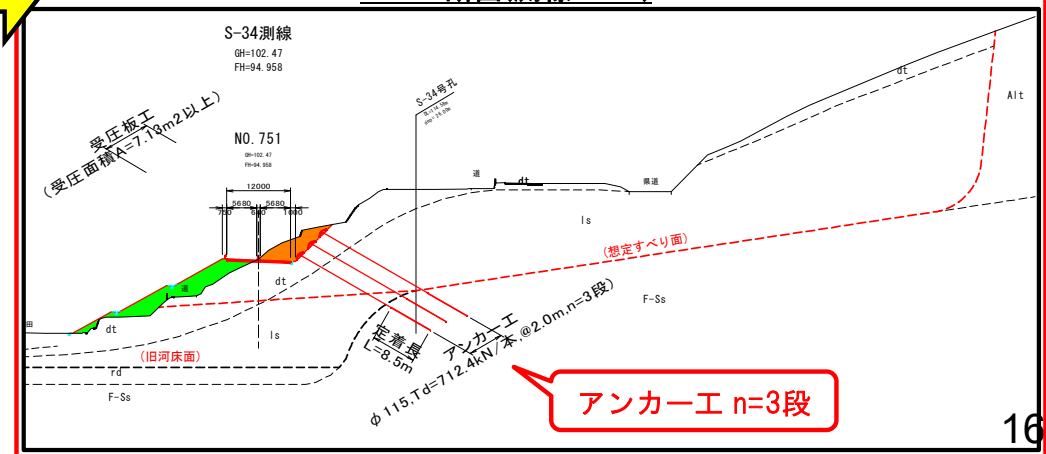
No.751断面(測線 S-34)



【変更】



No.751断面(測線 S-34)



7. 対応方針(原案)

- 国道497号松浦佐々道路は、「西九州自動車道」の一部を構成し、九州西北部地域の**地域経済の活性化、高速定時性の確保等**に寄与するとともに、県北地域唯一の幹線道路である**国道204号の代替機能確保**を目的とした事業である。
- 費用対効果についても、事業全体B/C1.0未満であるが、**残事業B/C1.0以上が確保**されており、**事業内容の見直しを実施**している。また、**広域ネットワークの形成、地域産業支援等**の観点からも重要な路線であり、費用便益分析に含まれない効果も確認されている。
- 事業進捗率は、**約46% [約522億円/約1130億円]**であり、**用地進捗率は約87%**となっている。(令和4年度末)
- なお、松浦市・佐世保市・佐々町が地元協議の連絡調整を行うなど、**地元自治体等からの支援も頂いており、今後の円滑な事業執行が可能**である。
- よって、当該事業の完成に向けて、**事業を継続すること**としたい。

卷 末 資 料

一般国道497号 松浦佐々道路

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道497号 松浦佐々道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B／C）＝0.8 （経済的純現在価値（B－C）＝-176億円、経済的内部収益率（E I R R）＝ 3.2%） 残事業：費用便益比（B／C）＝2.0 （経済的純現在価値（B－C）＝ 448億円、経済的内部収益率（E I R R）＝ 9.3%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 （対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 モビリティの 確保	円滑な モビリティの 確保	● 並行区間等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b（当該区間／並行区間）について：国道204号・（主）佐世保吉井松浦線（松浦市志佐町浦免～北松浦郡佐々町沖田免） 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：50.4万人・時間/年（国道204号等） 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：約6割削減（国道204号等）
		□ 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		■ 並行区間等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する又は新たなバス路線が期待できる	国道204号等を通る路線バスの利便性が向上 【便数】佐々バスセンター⇒田平港・松浦駅前：（平日）30便、（休日）29便 （R5.4月ダイヤ） 田平港・松浦駅前⇒佐々バスセンター：（平日）29便、（休日）28便 （R5.4月ダイヤ）
		□ 新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる	
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	松浦市から長崎空港へのアクセス向上が見込まれる 〔全事業・残事業〕松浦市⇒長崎空港 約53分短縮〔整備前約153分⇒整備後約100分〕
	物流効率化 の支援	■ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	重要港湾「佐世保港・伊万里港」へのアクセス向上が見込まれる 〔全事業・残事業〕松浦市⇄佐世保港 約54分短縮〔整備前約91分⇒整備後約37分〕、 〔全事業・残事業〕平戸市⇄伊万里港 約15分短縮〔整備前約48分⇒整備後約33分〕
		■ 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	松浦港のマアジの水揚げ全国1位（R4速報）、日本各地へ出荷 魚の丸ごと消費から、生鮮加工品（刺身・三枚卸等）の形態で、空港から関東向けに発送 〔全事業・残事業〕松浦市⇒長崎空港 約53分短縮〔整備前約153分⇒整備後約100分〕
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		□ 三大都市圏の環状道路を形成する	
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	国土・地域 ネットワーク の構築	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		■ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	松浦市・平戸市（北松2次生活圏）⇄佐世保市（佐世保2次生活圏）を最短時間で連絡する路線を構成する
		■ 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	松浦市から佐世保市（生活圏中心都市）へのアクセス向上が見込まれる 〔全事業・残事業〕松浦市⇒佐世保市 約55分短縮〔整備前約88分⇒整備後約33分〕

1. 活力	個性ある地域の形成	☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		☒ IC等からのアクセスが向上する主要な観光地が存在する	アクセス向上が期待される観光地：平戸市・松浦市、約142万人/年（平戸市・松浦市の県外観光客数） [全事業・残事業] 佐世保市⇒平戸市 約25分短縮 [整備前約65分⇒整備後約40分]
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	[全事業・残事業] 松浦市⇒佐世保市総合医療センター 約55分短縮 [整備前約84分⇒整備後約29分] [全事業・残事業] 平戸市⇒佐世保市総合医療センター 約23分短縮 [整備前約59分⇒整備後約36分]
3. 安全	安全な生活環境の確保 災害への備え	☐ 並行区間等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少により当該区間の安全性の向上が期待できる	
		☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	国道204号：緊急輸送道路ネットワーク計画において、第一次緊急輸送道路に位置付けられている
		☒ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路：国道204号、代替する区間（松浦市志佐町浦免～北松浦郡佐々町沖田免）
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する	
		☐ 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成する	
4. 環境	地球環境の保全 生活環境の改善・保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO ₂ 排出削減量：2,563t-CO ₂ /年（全事業・残事業）
		☒ 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間（現道等）：国道204号・（主）佐世保吉井松浦線（松浦市志佐町浦免～北松浦郡佐々町沖田免） 排出削減量：約14.6t-NO _x /年、排出削減率：約3割削減（全事業・残事業）
		☒ 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間（現道等）：国道204号・（主）佐世保吉井松浦線（松浦市志佐町浦免～北松浦郡佐々町沖田免） 排出削減量：約0.7t-SPM/年、排出削減率：約3割削減（全事業・残事業）
		☐ 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
	その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道497号	松浦佐々道路	19.1km	高規格Ｂ	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
9,100～13,100	2	九州地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	更新費	合 計
基 準 年	令和5年度			
単純合計	1,042億円	138億円		1,180億円
うち残事業分	481億円	138億円		619億円
基準年における 現在価値（Ｃ）	1,028億円	51億円		1,079億円
うち残事業分	404億円	51億円		455億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和5年度			
供 用 年	令和8年度、令和13年度、令和15年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	1.7億円	0.38億円	18億円
基準年における 現在価値（Ｂ）	785億円	89億円	28億円	903億円
うち残事業分	785億円	89億円	28億円	903億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	0.8
経済的純現在価値（事業全体）	-176億円
経済的内部収益率（事業全体）	3.2%
費用便益比（残事業）	2.0
経済的純現在価値（残事業）	448億円
経済的内部収益率（残事業）	9.3%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	9,100～13,100	±10%	0.6 ～ 1.1
事業費	1,042億円	±10%	0.8 ～ 0.9
事業期間	19年	±20%	0.8 ～ 0.9

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	9,100～13,100	±10%	1.5 ～ 2.6
事業費	481億円	±10%	1.8 ～ 2.2
事業期間	9年	±20%	1.8 ～ 2.1

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道497号 松浦佐々道路

(推計時点：R22年) (事業全体・残事業)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 〔松浦佐々道路 未供用区間〕 ：19.1km		交通量	[台/日]	0.00	10,900
		走行時間	[分]	0.00	14
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	28.81
②主な周 辺道路	国道204 号 ：49.9km	交通量	[台/日]	8,000	6,000
		走行時間	[分]	83	81
		走行時間費用	[億円/年]	121.65	82.29
	(主)佐世 保吉井松 浦線 ：9.0km	交通量	[台/日]	5,600	3,200
		走行時間	[分]	14	14
		走行時間費用	[億円/年]	15.07	9.02
	(県)志方 江迎線 ：8.5km	交通量	[台/日]	8,100	900
		走行時間	[分]	14	13
		走行時間費用	[億円/年]	20.08	2.13
	(県)松浦 江迎線 ：7.6km	交通量	[台/日]	2,500	900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	5.30	1.85
	(主)御厨 田代江迎 線 ：5.1km	交通量	[台/日]	2,200	1,100
		走行時間	[分]	9.6	9.6
		走行時間費用	[億円/年]	4.02	1.83
	国道498 号 ：10.1km	交通量	[台/日]	8,500	7,900
		走行時間	[分]	19.2	18.8
		走行時間費用	[億円/年]	37.30	34.63
③その他道路合計 ：1,294.9km		走行時間費用	[億円/年]	2,333.62	2,324.90

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,404.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,537.04	2,485.46	51.58

事業名：一般国道497号 松浦佐々道路



費用便益分析の条件

事業名：一般国道497号 松浦佐々道路

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和5年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R22)	
		複数時点での推計	☐ ()	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみの推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H27センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
			☐	
	開発交通量の考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	() 台トリップ/日
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q-V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		☒	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax～Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

(3)

9

事業名:一般国道497号 松浦佐々道路

(4)

項目			チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☐	
		標準投資パターンを採用	☒	
		その他()	☐	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		当該区間を管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績に基づき算出		
	更新費	更新費の設定根拠を記載		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		☒
		考慮する		☐
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	☐
維持管理費を考慮			☐	
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道497号 松浦佐々道路(事業全体)

				単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)	
				0.17		19.1		3.24	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-12年目	H 26	1.4233	98.7	0.93	1.36				
-11年目	H 27	1.3686	100.2	3.60	5.00				
-10年目	H 28	1.3159	100.2	18.20	24.33				
-9年目	H 29	1.2653	100.5	40.84	52.35				
-8年目	H 30	1.2167	100.4	37.15	45.83				
-7年目	R 1	1.1699	101.2	70.14	82.54				
-6年目	R 2	1.1249	101.9	89.71	100.82				
-5年目	R 3	1.0816	101.8	108.97	117.87				
-4年目	R 4	1.0400	101.8	107.48	111.78				
-3年目	R 5	1.0000	101.8	83.65	83.65				
-2年目	R 6	0.9615	101.8	94.51	90.87				
-1年目	R 7	0.9246	101.8	36.66	33.90				
部分供用	R 8	0.8890	101.8	39.38	35.01	1.42	1.26		
1年目	R 9	0.8548	101.8	50.99	43.59	1.42	1.21		
2年目	R 10	0.8219	101.8	61.06	50.19	1.42	1.17		
3年目	R 11	0.7903	101.8	72.16	57.03	1.42	1.12		
4年目	R 12	0.7599	101.8	67.69	51.44	1.42	1.08		
部分供用(5年目)	R 13	0.7307	101.8	36.50	26.67	2.05	1.49		
6年目	R 14	0.7026	101.8	22.44	15.76	2.05	1.44		
供用開始(7年目)	R 15	0.6756	101.8			2.95	1.99		
8年目	R 16	0.6496	101.8			2.95	1.91		
9年目	R 17	0.6246	101.8			2.95	1.84		
10年目	R 18	0.6006	101.8			2.95	1.77		
11年目	R 19	0.5775	101.8			2.95	1.70		
12年目	R 20	0.5553	101.8			2.95	1.64		
13年目	R 21	0.5339	101.8			2.95	1.57		
14年目	R 22	0.5134	101.8			2.95	1.51		
15年目	R 23	0.4936	101.8			2.95	1.45		
16年目	R 24	0.4746	101.8			2.95	1.40		
17年目	R 25	0.4564	101.8			2.95	1.34		
18年目	R 26	0.4388	101.8			2.95	1.29		
19年目	R 27	0.4220	101.8			2.95	1.24		
20年目	R 28	0.4057	101.8			2.95	1.20		
21年目	R 29	0.3901	101.8			2.95	1.15		
22年目	R 30	0.3751	101.8			2.95	1.10		
23年目	R 31	0.3607	101.8			2.95	1.06		
24年目	R 32	0.3468	101.8			2.95	1.02		
25年目	R 33	0.3335	101.8			2.95	0.98		
26年目	R 34	0.3207	101.8			2.95	0.94		
27年目	R 35	0.3083	101.8			2.95	0.91		
28年目	R 36	0.2965	101.8			2.95	0.87		
29年目	R 37	0.2851	101.8			2.95	0.84		
30年目	R 38	0.2741	101.8			2.95	0.81		
31年目	R 39	0.2636	101.8			2.95	0.78		
32年目	R 40	0.2534	101.8			2.95	0.75		
33年目	R 41	0.2437	101.8			2.95	0.72		
34年目	R 42	0.2343	101.8			2.95	0.69		
35年目	R 43	0.2253	101.8			2.95	0.66		
36年目	R 44	0.2166	101.8			2.95	0.64		
37年目	R 45	0.2083	101.8			2.95	0.61		
38年目	R 46	0.2003	101.8			2.95	0.59		
39年目	R 47	0.1926	101.8			2.95	0.57		
40年目	R 48	0.1852	101.8			2.95	0.55		
41年目	R 49	0.1780	101.8			2.95	0.52		
42年目	R 50	0.1712	101.8			2.95	0.50		
43年目	R 51	0.1646	101.8			2.95	0.48		
44年目	R 52	0.1583	101.8			2.95	0.47		
45年目	R 53	0.1522	101.8			2.95	0.45		
46年目	R 54	0.1463	101.8			2.95	0.43		
47年目	R 55	0.1407	101.8			2.95	0.41		
48年目	R 56	0.1353	101.8			2.95	0.40		
49年目	R 57	0.1301	101.8	-14.13	-1.84	2.95	0.38		
合 計				1027.95	1028.15	137.84	50.92		
単純事業費計				1042.08		137.84			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的なパターンであり、

必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道497号 松浦佐々道路(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-2年目	R 6	0.9615	101.8	94.51	90.87				
-1年目	R 7	0.9246	101.8	36.66	33.90				
部分供用	R 8	0.8890	101.8	39.38	35.01	1.42	1.26		
1年目	R 9	0.8548	101.8	50.99	43.59	1.42	1.21		
2年目	R 10	0.8219	101.8	61.06	50.19	1.42	1.17		
3年目	R 11	0.7903	101.8	72.16	57.03	1.42	1.12		
4年目	R 12	0.7599	101.8	67.69	51.44	1.42	1.08		
部分供用(5年目)	R 13	0.7307	101.8	36.50	26.67	2.05	1.49		
6年目	R 14	0.7026	101.8	22.44	15.76	2.05	1.44		
供用開始(7年目)	R 15	0.6756	101.8			2.95	1.99		
8年目	R 16	0.6496	101.8			2.95	1.91		
9年目	R 17	0.6246	101.8			2.95	1.84		
10年目	R 18	0.6006	101.8			2.95	1.77		
11年目	R 19	0.5775	101.8			2.95	1.70		
12年目	R 20	0.5553	101.8			2.95	1.64		
13年目	R 21	0.5339	101.8			2.95	1.57		
14年目	R 22	0.5134	101.8			2.95	1.51		
15年目	R 23	0.4936	101.8			2.95	1.45		
16年目	R 24	0.4746	101.8			2.95	1.40		
17年目	R 25	0.4564	101.8			2.95	1.34		
18年目	R 26	0.4388	101.8			2.95	1.29		
19年目	R 27	0.4220	101.8			2.95	1.24		
20年目	R 28	0.4057	101.8			2.95	1.20		
21年目	R 29	0.3901	101.8			2.95	1.15		
22年目	R 30	0.3751	101.8			2.95	1.10		
23年目	R 31	0.3607	101.8			2.95	1.06		
24年目	R 32	0.3468	101.8			2.95	1.02		
25年目	R 33	0.3335	101.8			2.95	0.98		
26年目	R 34	0.3207	101.8			2.95	0.94		
27年目	R 35	0.3083	101.8			2.95	0.91		
28年目	R 36	0.2965	101.8			2.95	0.87		
29年目	R 37	0.2851	101.8			2.95	0.84		
30年目	R 38	0.2741	101.8			2.95	0.81		
31年目	R 39	0.2636	101.8			2.95	0.78		
32年目	R 40	0.2534	101.8			2.95	0.75		
33年目	R 41	0.2437	101.8			2.95	0.72		
34年目	R 42	0.2343	101.8			2.95	0.69		
35年目	R 43	0.2253	101.8			2.95	0.66		
36年目	R 44	0.2166	101.8			2.95	0.64		
37年目	R 45	0.2083	101.8			2.95	0.61		
38年目	R 46	0.2003	101.8			2.95	0.59		
39年目	R 47	0.1926	101.8			2.95	0.57		
40年目	R 48	0.1852	101.8			2.95	0.55		
41年目	R 49	0.1780	101.8			2.95	0.52		
42年目	R 50	0.1712	101.8			2.95	0.50		
43年目	R 51	0.1646	101.8			2.95	0.48		
44年目	R 52	0.1583	101.8			2.95	0.47		
45年目	R 53	0.1522	101.8			2.95	0.45		
46年目	R 54	0.1463	101.8			2.95	0.43		
47年目	R 55	0.1407	101.8			2.95	0.41		
48年目	R 56	0.1353	101.8			2.95	0.40		
49年目	R 57	0.1301	101.8	-1.60	-0.21	2.95	0.38		
合 計				479.80	404.26	137.84	50.92		
単純事業費計				481.40		137.84			

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的なパターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道497号 松浦佐々道路(事業全体・残事業)

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
部分供用	R 8	0.99971	0.98475	1.00713	0.99832	0.8890	101.8	11.42	2.59	2.36	16.37	14.55	1.29	0.17	0.26	1.71	1.52	0.38	0.33	18.46	16.41
1年目	R 9	0.99971	0.98451	1.00708	0.99831	0.8548	101.8	11.41	2.55	2.38	16.34	13.97	1.29	0.17	0.26	1.71	1.46	0.38	0.32	18.43	15.76
2年目	R 10	0.99971	0.98427	1.00703	0.99831	0.8219	101.8	11.41	2.51	2.39	16.32	13.41	1.29	0.16	0.26	1.71	1.41	0.37	0.31	18.40	15.13
3年目	R 11	0.99971	0.98402	1.00698	0.99831	0.7903	101.8	11.41	2.47	2.41	16.29	12.88	1.29	0.16	0.26	1.71	1.35	0.37	0.30	18.38	14.52
4年目	R 12	0.99827	0.99081	1.00575	0.99809	0.7599	101.8	11.40	2.43	2.43	16.27	12.36	1.29	0.16	0.26	1.71	1.30	0.37	0.28	18.35	13.94
部分供用(5年目)	R 13	0.99826	0.99072	1.00571	0.99809	0.7307	101.8	12.17	2.41	2.79	17.38	12.70	1.48	0.14	0.28	1.90	1.39	0.56	0.41	19.84	14.50
6年目	R 14	0.99826	0.99064	1.00568	0.99808	0.7026	101.8	12.15	2.39	2.81	17.35	12.19	1.48	0.14	0.28	1.90	1.34	0.56	0.40	19.81	13.92
供用開始(7年目)	R 15	0.99826	0.99055	1.00565	0.99808	0.6756	101.8	37.14	7.95	7.18	52.27	35.31	4.80	0.50	0.71	6.01	4.06	1.96	1.32	60.24	40.70
8年目	R 16	0.99825	0.99046	1.00562	0.99808	0.6496	101.8	37.08	7.87	7.23	52.17	33.89	4.79	0.50	0.71	6.00	3.90	1.96	1.27	60.13	39.06
9年目	R 17	0.99825	0.99037	1.00559	0.99807	0.6246	101.8	37.01	7.80	7.27	52.07	32.52	4.78	0.49	0.71	5.99	3.74	1.95	1.22	60.01	37.48
10年目	R 18	0.99825	0.99027	1.00556	0.99807	0.6006	101.8	36.95	7.72	7.31	51.97	31.21	4.77	0.49	0.72	5.98	3.59	1.95	1.17	59.90	35.98
11年目	R 19	0.99825	0.99018	1.00552	0.99806	0.5775	101.8	36.88	7.65	7.35	51.88	29.96	4.77	0.48	0.72	5.97	3.45	1.95	1.12	59.79	34.53
12年目	R 20	0.99824	0.99008	1.00549	0.99806	0.5553	101.8	36.82	7.57	7.39	51.78	28.75	4.76	0.48	0.73	5.96	3.31	1.94	1.08	59.68	33.14
13年目	R 21	0.99824	0.98998	1.00546	0.99806	0.5339	101.8	36.75	7.50	7.43	51.68	27.59	4.75	0.47	0.73	5.95	3.18	1.94	1.03	59.57	31.80
14年目	R 22	0.99214	0.99247	0.99986	0.99339	0.5134	101.8	36.69	7.42	7.47	51.58	26.48	4.74	0.47	0.73	5.94	3.05	1.93	0.99	59.45	30.52
15年目	R 23	0.99208	0.99241	0.99986	0.99334	0.4936	101.8	36.40	7.37	7.47	51.23	25.29	4.70	0.46	0.73	5.90	2.91	1.92	0.95	59.06	29.15
16年目	R 24	0.99201	0.99235	0.99986	0.99330	0.4746	101.8	36.11	7.31	7.47	50.89	24.15	4.67	0.46	0.73	5.86	2.78	1.91	0.91	58.66	27.84
17年目	R 25	0.99195	0.99230	0.99986	0.99325	0.4564	101.8	35.82	7.25	7.47	50.54	23.07	4.63	0.46	0.73	5.82	2.66	1.90	0.87	58.26	26.59
18年目	R 26	0.99188	0.99224	0.99986	0.99321	0.4388	101.8	35.53	7.20	7.46	50.20	22.03	4.59	0.45	0.73	5.78	2.54	1.88	0.83	57.86	25.39
19年目	R 27	0.99182	0.99218	0.99986	0.99316	0.4220	101.8	35.25	7.14	7.46	49.85	21.03	4.55	0.45	0.73	5.74	2.42	1.87	0.79	57.46	24.25
20年目	R 28	0.99175	0.99211	0.99986	0.99311	0.4057	101.8	34.96	7.09	7.46	49.51	20.09	4.52	0.45	0.73	5.70	2.31	1.86	0.75	57.06	23.15
21年目	R 29	0.99168	0.99205	0.99986	0.99307	0.3901	101.8	34.67	7.03	7.46	49.16	19.18	4.48	0.44	0.73	5.66	2.21	1.84	0.72	56.66	22.10
22年目	R 30	0.99161	0.99199	0.99986	0.99302	0.3751	101.8	34.38	6.97	7.46	48.81	18.31	4.44	0.44	0.73	5.62	2.11	1.83	0.69	56.26	21.10
23年目	R 31	0.99154	0.99192	0.99986	0.99297	0.3607	101.8	34.09	6.92	7.46	48.47	17.48	4.41	0.44	0.73	5.57	2.01	1.82	0.66	55.86	20.15
24年目	R 32	0.99147	0.99186	0.99986	0.99292	0.3468	101.8	33.80	6.86	7.46	48.12	16.69	4.37	0.43	0.73	5.53	1.92	1.81	0.63	55.46	19.24
25年目	R 33	0.99139	0.99179	0.99986	0.99287	0.3335	101.8	33.51	6.81	7.46	47.78	15.93	4.33	0.43	0.73	5.49	1.83	1.79	0.60	55.07	18.36
26年目	R 34	0.99132	0.99172	0.99986	0.99282	0.3207	101.8	33.23	6.75	7.46	47.43	15.21	4.29	0.42	0.73	5.45	1.75	1.78	0.57	54.67	17.53
27年目	R 35	0.99124	0.99165	0.99986	0.99277	0.3083	101.8	32.94	6.69	7.46	47.09	14.52	4.26	0.42	0.73	5.41	1.67	1.77	0.54	54.27	16.73
28年目	R 36	0.99117	0.99158	0.99986	0.99271	0.2965	101.8	32.65	6.64	7.45	46.74	13.86	4.22	0.42	0.73	5.37	1.59	1.75	0.52	53.87	15.97
29年目	R 37	0.99109	0.99151	0.99986	0.99266	0.2851	101.8	32.36	6.58	7.45	46.40	13.23	4.18	0.41	0.73	5.33	1.52	1.74	0.50	53.47	15.24
30年目	R 38	0.99101	0.99144	0.99986	0.99261	0.2741	101.8	32.07	6.53	7.45	46.05	12.62	4.14	0.41	0.73	5.29	1.45	1.73	0.47	53.07	14.55
31年目	R 39	0.99093	0.99136	0.99986	0.99255	0.2636	101.8	31.78	6.47	7.45	45.71	12.05	4.11	0.41	0.73	5.25	1.38	1.72	0.45	52.67	13.88
32年目	R 40	0.99084	0.99129	0.99986	0.99249	0.2534	101.8	31.50	6.42	7.45	45.36	11.50	4.07	0.40	0.73	5.21	1.32	1.70	0.43	52.27	13.25
33年目	R 41	0.99076	0.99121	0.99986	0.99244	0.2437	101.8	31.21	6.36	7.45	45.02	10.97	4.03	0.40	0.73	5.17	1.26	1.69	0.41	51.87	12.64
34年目	R 42	0.99067	0.99113	0.99986	0.99238	0.2343	101.8	30.92	6.30	7.45	44.67	10.47	4.00	0.40	0.73	5.13	1.20	1.68	0.39	51.47	12.06
35年目	R 43	0.99058	0.99106	0.99986	0.99232	0.2253	101.8	30.63	6.25	7.45	44.33	9.99	3.96	0.39	0.73	5.08	1.15	1.67	0.38	51.08	11.51
36年目	R 44	0.99049	0.99097	0.99986	0.99226	0.2166	101.8	30.34	6.19	7.45	43.98	9.53	3.92	0.39	0.73	5.04	1.09	1.65	0.36	50.68	10.98
37年目	R 45	0.99040	0.99089	0.99986	0.99220	0.2083	101.8	30.05	6.14	7.45	43.64	9.09	3.88	0.39	0.73	5.00	1.04	1.64	0.34	50.28	10.47
38年目	R 46	0.99031	0.99081	0.99986	0.99214	0.2003	101.8	29.77	6.08	7.44	43.29	8.67	3.85	0.38	0.73	4.96	0.99	1.63	0.33	49.88	9.99
39年目	R 47	0.99022	0.99072	0.99986	0.99208	0.1926	101.8	29.48	6.02	7.44	42.94	8.27	3.81	0.38	0.73	4.92	0.95	1.61	0.31	49.48	9.53
40年目	R 48	0.99012	0.99064	0.99986	0.99201	0.1852	101.8	29.19	5.97	7.44	42.60	7.89	3.77	0.38	0.73	4.88	0.90	1.60	0.30	49.08	9.09
41年目	R 49	0.99002	0.99055	0.99986	0.99195	0.1780	101.8	28.90	5.91	7.44	42.25	7.52	3.73	0.37	0.73	4.84	0.86	1.59	0.28	48.68	8.67
42年目	R 50	0.98992	0.99046	0.99986	0.99188	0.1712	101.8	28.61	5.86	7.44	41.91	7.17	3.70	0.37	0.73	4.80	0.82	1.58	0.27	48.28	8.27
43年目	R 51	0.98982	0.99037	0.99986	0.99182	0.1646	101.8	28.32	5.80	7.44	41.56	6.84	3.66	0.36	0.73	4.76	0.78	1.56	0.26	47.88	7.88
44年目	R 52	0.98971	0.99027	0.99986	0.99175	0.1583	101.8	28.04	5.74	7.44	41.22	6.52	3.62	0.36	0.73	4.72	0.75	1.55	0.25	47.48	7.52
45年目	R 53	0.98961	0.99018	0.99986	0.99168	0.1522	101.8	27.75	5.69	7.44	40.87	6.22	3.59	0.36	0.73	4.68	0.71	1.54	0.23		

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道497号	松浦佐々道路	2	19.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					95,027	
	改良費				12,419	
		土工	m3	3,292,103	3,469	切土 (1,253,011m ³)、盛土 (1,465,231m ³)、捨土工 (573,861m ³)
		軟弱地盤改良工	m3	64,970	1,959	深層混合処理工 (38,667m ³)、浅層混合処理工 (11,303m ³)
		法面工	m2	233,801	1,921	切土法面 (101,036m ²)、盛土法面 (126,918m ²)、地すべり対策工 (5,847m ²)
		擁壁工	式	1	1,996	ブロック積擁壁、もたれ式擁壁、L型擁壁、補強土壁
		管渠工	m	1,358	264	
		函渠工	m	688	772	
		排水工	m	35,368	963	
		中央分離帯工	m	19,083	573	
		雑工	式	1	503	
	橋梁費				32,092	
		100m以上	m	3,372	27,889	連続高架橋8橋、鋼橋2橋
		100m未満	m	703	4,203	鋼橋2橋、跨道橋10橋
	トンネル費				44,471	
		NATM	m	6,545	44,471	
		シールド	m			
	IC・JCT費				3,506	
		IC	箇所	4	3,506	
		JCT	箇所			
	舗装費				1,286	
		車道舗装	m2	154,193	1,277	土工区間延長(橋梁、トンネル区間以外): 9,609m
		歩道舗装	m2	1,590	9	
	付帯施設費				1,253	
		交通管理施設工	式	1	1,253	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					1,978	
	用地費		m2	456,100	1,413	
		宅地	m2	37,788	527	
		田畑	m2	110,561	684	
		山林・原野	m2	285,461	151	
		その他	m2	22,290	50	
	補償費		式		565	
③間接経費		式	1		16,011	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					113,016	

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道497号	松浦佐々道路	2	19.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					44,537	
	改良費				5,629	
		土工	m3	2,878,479	1,781	切土(643,253m ³)、盛土(752,200m ³)、捨土工(294,601m ³)
		軟弱地盤改良工	m3	25,891	305	深層混合処理工(6,025m ³)、浅層混合処理工(1,761m ³)
		法面工	m2	207,596	1,263	切土法面(66,422m ²)、盛土法面(83,437m ²)、地すべり対策工(3,844m ²)
		擁壁工	式	1	776	ブロック積擁壁、もたれ式擁壁、L型擁壁、補強土壁
		管渠工	m	1,228	177	
		函渠工	m	669	55	
		排水工	m	34,478	586	
		中央分離帯工	m	19,048	394	
		雑工	式	1	293	
	橋梁費				12,607	
		100m以上	m	3,223	10,977	連続高架橋6橋、鋼橋2橋
		100m未満	m	679	1,630	鋼橋2橋、跨道橋6橋
	トンネル費				22,142	
		NATM	m	6,545	22,142	
		シールド	m			
	IC・JCT費				2,411	
		IC	箇所	4	2,411	
		JCT	箇所			
	舗装費				887	
		車道舗装	m2	154,193	878	土工区間延長(橋梁、トンネル区間以外):9,609m
		歩道舗装	m2	1,590	9	
	付帯施設費				861	
		交通管理施設工	式	1	861	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					595	
	用地費		m2	284,081	160	
		宅地	m2	22,901	67	
		田畑	m2	62,516	77	
		山林・原野	m2	198,664	16	
		その他	m2			
	補償費		式		435	
③間接経費		式	1		8,143	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費					53,275	

全事業における維持管理費及び更新費の内訳

参考様式2

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道497号	松浦佐々道路	2	19.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	19.1	3,974	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,188	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			15,162	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費	式			
維持管理費合計				

【単価等について】

○維持管理費は、当該区間を管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績に基づき算出。

○更新費は、更新計画やこれまでの類似実績から算出。

残事業における維持管理費及び更新費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道497号	松浦佐々道路	2	19.1km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	19.1	3,974	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	11,188	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			15,162	

■更新費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
更新費	式			
維持管理費合計				

【単価等について】

○維持管理費は、当該区間を管轄する事務所における直轄国道の維持管理費実績に基づき算出。

○更新費は、更新計画やこれまでの類似実績から算出。

参考様式3

項目	前回評価 R1年度				今回評価 R5年度				主な変動要因 (現在価値)
事業概要	延長19.1km 車線数2車線				延長19.1km 車線数2車線				
事業費	907億円				1,130億円				
事業全体	B/C	1.04			B/C	0.8			
	B 便 益	804億円	走行時間 短縮便益	688億円	B 便 益	903億円	走行時間 短縮便益	785億円	・基準年の変更（R1⇒R5） ・事業期間の見直し ・交通量変動率の見直し ・費用便益分析モデルの改定 ・将来交通需要量の変更
			走行経費 減少便益	81億円			走行経費 減少便益	89億円	
			交通事故 減少便益	34億円			交通事故 減少便益	28億円	
	C 費 用	770億円	事業費	732億円	C 費 用	1,079億円	事業費	1,028億円	・基準年の変更（R1⇒R5） ・事業費・事業期間の見直し
			維持管理費	38億円			維持管理費	51億円	
			更新費				更新費		
	B/C	1.3			B/C	2.0			
	B 便 益	804億円	走行時間 短縮便益	688億円	B 便 益	903億円	走行時間 短縮便益	785億円	・基準年の変更（R1⇒R5） ・事業期間の見直し ・交通量変動率の見直し ・費用便益分析モデルの改定 ・将来交通需要量の変更
			走行経費 減少便益	81億円			走行経費 減少便益	89億円	
			交通事故 減少便益	34億円			交通事故 減少便益	28億円	
C 費 用	607億円	事業費	569億円	C 費 用	455億円	事業費	404億円	・事業費・事業区間 の見直し ・基準年の変更（R1⇒R5）	
		維持管理費	38億円			維持管理費	51億円		
		更新費				更新費			